



## 内閣府特命担当大臣表彰

な お い あ き  
**直井 亜紀**

埼玉県八潮市 / 埼玉県推薦

活動開始:平成21年4月

小中学生に加え、その保護者や孫を育てる世代、異世代にわたる地域に密着した助産師活動を行っています。

市内小中学校で実施している「いのちの授業」は、性の知識教育のみならず、家族や未来、自分自身のいのちに思いをはせる内容です。他者を認める心の育成として自己肯定感を高め、いじめや望まない妊娠、性犯罪、さらには将来の自殺や虐待の予防につなげる活動として、社会的に重要な役割を果たしています。

助産院の活動として、母乳育児指導や育児クラスなどの産後ケアを行い、育児中の親の支援にも携わっています。

### ■選考委員のコメント

助産師ならではの発想が随所に感じられます。性知識の教育はもとよりいのちの大切さについて、乳児とのふれあいなど様々な機会を通じて実践している点を高く評価しました。

### ■受賞の言葉

このような素晴らしい賞を賜り、今まで支えてくださった方々のおかげだと、心より感謝を申し上げます。

私自身が「こんなことを教えてほしかった」「こんなことがあったらいいな」と思ったことを形にしてきました。「いのちの授業」では、小中高校生が自分のいのち・家族・友人に思いをはせ、わくわくした未来を生きてほしいという願いを込めています。

助産院では、日々多くの育児中の親と関わっています。赤ちゃんの些細な変化も敏感に察知して丁寧に育児する親たちを見ると、私たち自身も抱っこされて笑いかけられた日があり今があるのだと再認識します。全ての世代にとって優しい未来となることを願い、今後も精進してまいります。



直井 亜紀氏



小学生向け「いのちの授業」の様子



乳児との触れ合い体験



表彰状の授与